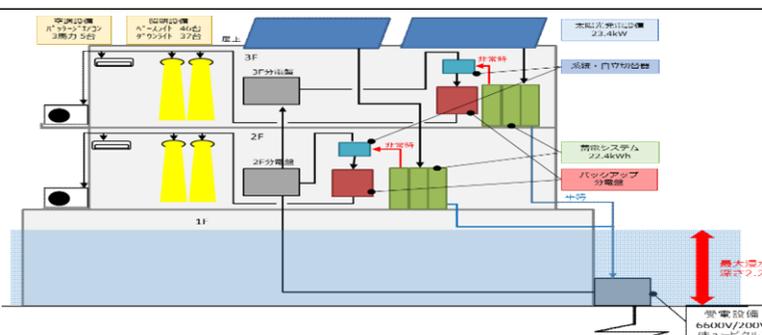


# 地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業 事業概要書

## 1. 事業概要

実施主体	富山県富山市	所在地	富山県富山市新桜町7番38号
施設名	富山市婦中体育館	所在地	富山県富山市婦中町砂子田1番1

## 2. 事業内容

事業名称	婦中体育館における自立・分散型エネルギー設備導入事業	事業完了後のCO <sub>2</sub> 削減量(見込み)	175 t-CO <sub>2</sub> /年
導入設備	再生可能エネルギー設備:太陽光発電設備(モジュール:23.4kW、蓄電池:22.4kW) 省エネルギー設備:LED証明(ベースライト:46台、ダウンライト37台)、高効率空調(3馬力5台)		
防災計画への位置づけ等	今回、自立・分散型エネルギー設備を導入する上記施設は本市の地域防災計画において、避難施設に位置づけられている。		
事業内容	<p>太陽光発電設備及び蓄電システムの導入により、平時は発電した電力を一定量蓄電池に蓄えるとともに、蓄電量が十分な場合には施設内で消費することにより、CO<sub>2</sub>を排出しない再生可能エネルギー由来の電力を優先的に使用し、CO<sub>2</sub>排出量を削減する。一方、災害時に商用電源が断たれた場合は自動的に自立運転に切り替わり、蓄電池に蓄えた電力を供給することにより、避難所としての機能を強化する。</p> 		

## 3. 期待される効果

普及効果・平時における役割	平時においては、市のHPや広報等による情報発信を行い、上記施設での防災訓練の定期的な実施等を通して、市民の防災意識の醸成を図るとともに、防災機能の強化と同時にCO <sub>2</sub> 排出量の削減が図られていることを施設利用者をはじめ、広くPRする。
防災減災面における役割	当該地域は浸水被害危険性地域に指定され、最大深さ2.2mの浸水が想定されることから、浸水時の避難者収容、けが人や体調不良を訴える者、子どもや高齢者といった要配慮者を収容する場所として、2階の婦中スポーツクラブ事務所と卓球室へ今回導入する設備を活用して継続的に電気を供給する。また、その余剰電力を避難者が家族等と連絡を取る携帯電話の充電用コンセント電源としても活用する。